

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		体育施設改修事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	山田 清
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1518
予算科目		会計一般	款10	項6	目2	事業連番11506	法令根拠	成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・改修要望箇所の確認や参考見積の徴取、緊急度などに応じた「体育施設年次改修計画」の策定を行い、計画に応じた改修を実施する。 ・体育施設は中央運動公園G・総合運動公園・黒石公園G・みずき台G・みずき台テニスコート・泉ヶ丘テニスコート・栄G・合生G・上生G・泉ヶ丘体育館・栄体育館・妙泉寺体育館・西合志体育館・総合体育館・武道館・弁天山キャンプ場・合志小跡G・福原グラウンドである。 ・平成22年2月補正予算において、「体育施設維持管理業務」中の改修に係る委託料・工事請負費を本事業に計上し、事業を開始した。 ・年々施設の老朽化が進んでいる。
【業務の流れ】	・改修箇所確認、参考見積徴取、「体育施設年次改修計画」策定・設計書作成、入札依頼書提出、施行監理、竣工検査、支払事務・設計書作成、見積書徴取、契約事務、施行監理、竣工検査、支払事務
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・夜間照明設備の不具合による苦情・総合運動公園テニスコートの近くにトイレ設置・野球場バッティングゲージ溶接破損箇所修繕・野球場スコアボード時計修繕・野球場内野部分の整地工事 など

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
栄グラウンド雨水排水設備測量設計業務委託、みずき台テニスコートラインテープ改修工事、総合運動公園野球場塗装工事、合志市内グラウンド照明設備改修工事、栄グラウンド側溝布設工事、総合運動公園下水道接続工事、総合運動公園浄化槽清掃及び保護工事		総合運動公園雨天練習場改修設計委託、合志小跡グラウンド整備設計委託、体育館冷水器設置設計委託、総合運動公園野球場内野改修工事、総合運動公園雨天練習場改修工事、泉ヶ丘体育館屋根改修工事、市内グラウンドナイターランプ取替工事、体育館冷水器設置工事
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 委託・工事発注件数	件	
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 上記「【事業の内容】」に記載されている施設	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア 改修要望件数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 常に気持ちよく安全に利用できる状態を保つ。	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア 改修済件数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
・改修要望の中から緊急度などを考慮し策定した「体育施設年次改修計画」に記載された改修が実施された割合を成果指標とした。・予算確定により目標値を設定した。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア	件	0	2	7	7	4	0	0	
	イ									
② 対象指標	ア	件	0	29	29	12	0	0	0	
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	10	15	6	0	0	0	
	イ									
投 入 費 用 量	財 源	国庫支出金	千円							(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円				20,412			
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	20,412	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	0	3	3	5	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間		105	170	2,065		0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	417	676	8,507	0	0	
			千円	0	417	676	28,919	0	0	

事務事業名	体育施設改修事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 年次計画における本年度計画分の予算が確保されたため
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 年次計画により改修を実施しているが、国の経済対策などで改修が前倒しで実施されれば成果は向上する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市の施設なので、市で維持管理するのが妥当である。 体育施設改修事業及び体育施設運営事業を体育施設維持管理事業に統合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 適正かつ安価である仕様及び工法による設計に努めている。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人件費（業務時間）を計上している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 使用料以外の施設改修に係る負担を利用者に求めることは出来ない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 改修工事を住民や地域・団体に行わせることはできない。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

体育施設維持管理業務へ統合

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 市内の施設を総合的に管理改修を行う部署を設置し、一括で改修等を行えば、効率的に行うことができる。この事務事業を体育施設維持管理業務に統合する。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 管理改修を行う部署と施設の貸し出しを行う部署との綿密な連携が必要となる。また、体育施設改修事業を体育施設維持管理業務に統合する。																							